

令和4年6月23日

安曇野市教育委員会

令和4年6月定例会

会 議 議 案

安曇野市教育委員会

議案第 1 号	教育部 文化課
令和 4 年 6 月 23 日提出	(課長) 山下 泰永 (担当係長) 奈良澤 一恵

タイトル	安曇野市図書館協議会委員の任命について																																																
決定を要する事項の内容	安曇野市図書館協議会の委員の選任について																																																
要旨	令和 4 年 6 月 30 日で任期満了となる図書館協議会委員の委嘱。																																																
説明	<p>1 任期 2 年（令和 4 年 7 月 1 日～令和 6 年 6 月 30 日）</p> <p>2 交付日 令和 4 年 7 月 1 日</p> <p>3 選任する委員</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">地域</th> <th style="width: 40%;">氏 名</th> <th style="width: 10%;">再任</th> <th style="width: 40%;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>竹内 幸浩</td> <td>新任</td> <td>安曇野市校長会推薦</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鬼塚 千春</td> <td>再任</td> <td>安曇野市校長会推薦</td> </tr> <tr> <td>豊科</td> <td>初谷 大子</td> <td>再任</td> <td>社会教育の関係者</td> </tr> <tr> <td>豊科</td> <td>鈴木 健司</td> <td>再任</td> <td>学識経験者</td> </tr> <tr> <td>穂高</td> <td>古川 政明</td> <td>再任</td> <td>家庭教育の向上に資する活動を行う者</td> </tr> <tr> <td>穂高</td> <td>鈴木 研一</td> <td>再任</td> <td>学識経験者</td> </tr> <tr> <td>穂高</td> <td>黒澤 哲</td> <td>再任</td> <td>学識経験者</td> </tr> <tr> <td>三郷</td> <td>田守 明子</td> <td>再任</td> <td>社会教育の関係者</td> </tr> <tr> <td>堀金</td> <td>杉本 彩</td> <td>再任</td> <td>社会教育の関係者</td> </tr> <tr> <td>明科</td> <td>望月 みどり</td> <td>再任</td> <td>社会教育の関係者</td> </tr> <tr> <td>穂高</td> <td>西村 和芳</td> <td>新任</td> <td>公募</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 根拠【安曇野市図書館条例抜粋】</p> <p>第 8 条 図書館に、法第 14 条第 1 項の規定により安曇野市図書館協議会（以下「協議会」という。）を置く。</p> <p>第 9 条 協議会は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する 15 人以内の委員で組織する。</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 学校教育の関係者</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 社会教育の関係者</p> <p style="margin-left: 20px;">(3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者</p> <p style="margin-left: 20px;">(4) 学識経験者</p> <p>2 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。</p>	地域	氏 名	再任	備 考		竹内 幸浩	新任	安曇野市校長会推薦		鬼塚 千春	再任	安曇野市校長会推薦	豊科	初谷 大子	再任	社会教育の関係者	豊科	鈴木 健司	再任	学識経験者	穂高	古川 政明	再任	家庭教育の向上に資する活動を行う者	穂高	鈴木 研一	再任	学識経験者	穂高	黒澤 哲	再任	学識経験者	三郷	田守 明子	再任	社会教育の関係者	堀金	杉本 彩	再任	社会教育の関係者	明科	望月 みどり	再任	社会教育の関係者	穂高	西村 和芳	新任	公募
地域	氏 名	再任	備 考																																														
	竹内 幸浩	新任	安曇野市校長会推薦																																														
	鬼塚 千春	再任	安曇野市校長会推薦																																														
豊科	初谷 大子	再任	社会教育の関係者																																														
豊科	鈴木 健司	再任	学識経験者																																														
穂高	古川 政明	再任	家庭教育の向上に資する活動を行う者																																														
穂高	鈴木 研一	再任	学識経験者																																														
穂高	黒澤 哲	再任	学識経験者																																														
三郷	田守 明子	再任	社会教育の関係者																																														
堀金	杉本 彩	再任	社会教育の関係者																																														
明科	望月 みどり	再任	社会教育の関係者																																														
穂高	西村 和芳	新任	公募																																														

議案第2号	教育部 文化課
令和4年6月23日提出	(課長) 山下 泰永 (担当係長) 奈良澤 一恵

タイトル	「市町村と県による協働電子図書館」事業の開始について
決定を要する事項の内容	「市町村と県による協働電子図書館」事業への参加に関する協議
要旨	令和4年8月5日から開始する「市町村と県による協働電子図書館」事業への参加に伴い、市内公共図書館窓口での登録受付業務等を開始する。
説明	<ol style="list-style-type: none"> 1 事業概要 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から8年度の5年間、長野県内市町村と県とが協働して電子図書館を構築し、全県的にサービスを提供する事業。 ・全ての県民が、居住する地域や世代の違い、障がいの有無等にかかわらず、いつでも、どこからでも、無償で必要とする情報（電子図書館）にアクセスできる環境を構築する。 2 経費負担 <ul style="list-style-type: none"> ・県と各自治体が分担し、負担金で運営する。 ・令和4年度は、(公財)長野県市町村振興協会の令和4年度宝くじ助成事業として支援するため、市町村の負担金は不用。 ・令和5年度以降は、電子図書館の「運用規程」に従い負担金を集める予定。 3 各自治体図書館での業務 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館窓口等における利用登録、ID・パスワードの交付 ・利用者支援に関すること ・電子書籍コンテンツの選書に関すること ・利用促進・広報に関すること 4 サービス開始日（サイトの開設） <p style="text-align: center;">令和4年8月5日（金）から</p> 5 利用登録受付開始日 <p style="text-align: center;">令和4年7月1日（金）から</p> 6 受付場所 市内公共図書館5館全館のカウンター

市町村と県による 協働電子図書館 8月5日(金)、スタート!

令和
4年版
2022

市町村と県による協働電子図書館

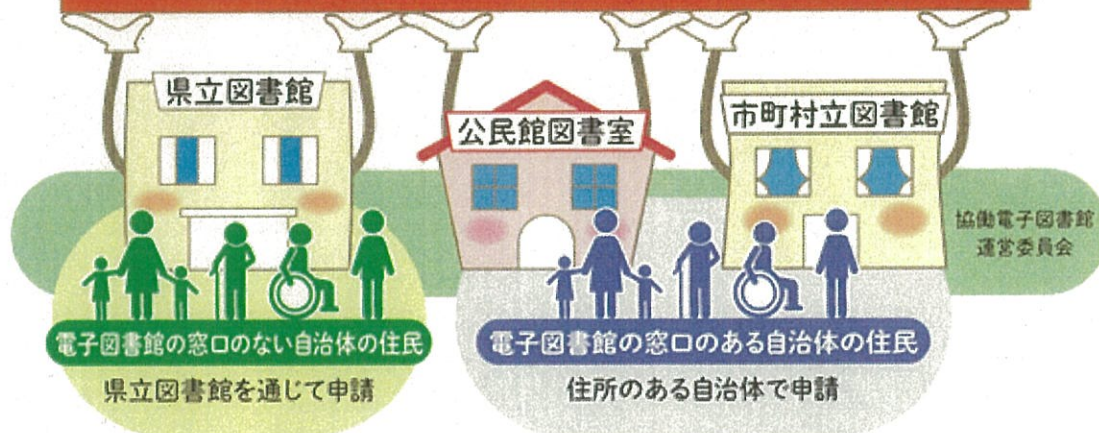
長野県民はだれでもいつでもどこからでも



パソコン・スマホ・タブレットで読む

電子書籍(コンテンツ)……77市町村で分担購入

電子図書館(プラットフォーム
本棚のような役目)……県立図書館で維持



当館の利用者カードで

かんたんにお手続きできます。

7月1日より、受付を開始します。

安曇野市にお住いのみなさまは 安曇野市図書館 カウンターへ

(中央・豊科・三郷・堀金・明科 全5館全館で受付可能)

開館時間内にお越しください

議案第3号	教育部 文化課
令和4年6月23日提出	(課長)山下 泰永 (担当係長)逸見 大悟

タイトル	安曇野市誌編さん委員会補欠委員の選任について										
決定を要する事項の内容	安曇野市誌編さん委員会の補欠委員の選任について										
要旨	令和4年3月31日までに辞任又は死亡した安曇野市誌編さん委員会委員に係る補欠委員の委嘱。										
説明	<p>1 任期 安曇野市誌編さん委員会設置要綱第2条第1項第1号から第3号に規定する任務が終了するまで (令和4年7月1日から任務終了まで)</p> <p>2 補欠委員を選出しなければならない理由 委員を委嘱していた小松芳郎委員が本年2月21日に逝去され、上角久仁夫委員が3月31日をもって辞職されたため。</p> <p>3 交付日 令和4年7月1日</p> <p>4 選任する委員</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">氏名</th> <th style="text-align: center;">所属及び役職</th> <th style="text-align: center;">推薦理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">青木 隆幸</td> <td style="text-align: center;">飯田市美術博物館 専門研究員</td> <td>長野県内の高等学校日本史の教諭を歴任、また長野県立歴史館学芸部長を務めた。日本史学の専門家である。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">丸山 隆</td> <td style="text-align: center;">元信州野鳥の会 会長</td> <td>『三郷村誌』『明科町史』等、多くの自治体誌において、野鳥の分野で調査・執筆を行ってきた実績がある。</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 根拠【安曇野市市誌編さん委員会設置要綱抜粋】</p> <p>第1条 市誌編さん事業を推進するため、安曇野市誌編さん委員会（以下「委員会」という。）を設置する。</p> <p>（任務）</p> <p>第2条 委員会の任務は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 市誌編さんの基本方針の策定に関すること。</p> <p>(2) 市誌編さんの編集方針に関すること。</p> <p>(3) その他市誌編さん事業の推進に関すること。</p> <p>（組織）</p> <p>第3条 委員会は、委員8人以内とし、学識を有する者のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。</p> <p>2 委員会の委員の任期は、第2条第1項第1号から第3号に規定する任務が終了するまでとする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。</p>		氏名	所属及び役職	推薦理由	青木 隆幸	飯田市美術博物館 専門研究員	長野県内の高等学校日本史の教諭を歴任、また長野県立歴史館学芸部長を務めた。日本史学の専門家である。	丸山 隆	元信州野鳥の会 会長	『三郷村誌』『明科町史』等、多くの自治体誌において、野鳥の分野で調査・執筆を行ってきた実績がある。
氏名	所属及び役職	推薦理由									
青木 隆幸	飯田市美術博物館 専門研究員	長野県内の高等学校日本史の教諭を歴任、また長野県立歴史館学芸部長を務めた。日本史学の専門家である。									
丸山 隆	元信州野鳥の会 会長	『三郷村誌』『明科町史』等、多くの自治体誌において、野鳥の分野で調査・執筆を行ってきた実績がある。									

議案第4号	教育部 各課
令和4年6月23日提出	

タイトル	共催・後援依頼について																								
決定を要する事項の内容	教育委員会の共催・後援依頼についての協議																								
要旨	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%;">学校教育課</td> <td style="width: 10%;">共催</td> <td style="width: 20%;">1件</td> <td style="width: 10%;">・後援</td> <td style="width: 10%;">0件</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>生涯学習課</td> <td>共催</td> <td>2件</td> <td>・後援</td> <td>0件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>文化課</td> <td>共催</td> <td>1件</td> <td>・後援</td> <td>5件</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6" style="text-align: right;">(詳細 別紙)</td> </tr> </table>	学校教育課	共催	1件	・後援	0件		生涯学習課	共催	2件	・後援	0件		文化課	共催	1件	・後援	5件		(詳細 別紙)					
学校教育課	共催	1件	・後援	0件																					
生涯学習課	共催	2件	・後援	0件																					
文化課	共催	1件	・後援	5件																					
(詳細 別紙)																									

議案第3号の共催・後援依頼に関わる申請書は、個人又は法人に係る情報が記載されているため、非公開といたします。

○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】
(定義)

第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。
- (2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。
- (3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。

(審査基準)

第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。

- (1) 国又は地方公共団体
- (2) 学校又は学校の連合体

2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。

- (1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。
- (2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。
- (3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。
- (4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。
- (5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。
- (6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。

(教育長の専決範囲)

第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。

- (1) 前条第1項に規定する行事
- (2) 過去に教育委員会が承認した行事（団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。）

学校教育課 共催・後援台帳(令和4年度6月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	年度	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R3	R2	R1	所管課意見
15	R4.6.1	教育総務係	R4	令和4年度安曇野市福祉教育研修会	社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会(代表者:小松 正重)	社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会	共催	安曇野市コミュニケーションスクール事業の推進を図るため	5月31日	令和4年7月25日(月) 13:30~15:30	-	-			安曇野市社会福祉協議会 金支所集会所	安曇野市コミュニケーションスクール 事業推進に向け、学校・地域コーディネーター各々の役割を改めて理解するとともに、連携・協働のあり方を考える	参加費:無料 「連携・協働によるコミュニケーションスクールの実現に向けて」(仮題) ・コミュニケーションスクールの実現に向け各々の役割を改めて共有し、講義と演習による熟議の重要性を学び、連携・協働について考える 講師:伴 善佐子 氏 (上田北小学校地域コーディネーター)	後援 ○	-	後援 ○	基準第3条第2項により可

教育部生涯学習課共催・後援台帳(令和4年度6月定例会協議事項)

定例 台帳 No.	提出 年月	受付 日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R3	R2	R1	所管課 意見
6	9	R468	社会教育課	第16回安曇野市科親睦ゴルフ大会	安曇野市科親睦ゴルフ大会実行委員会 安曇野市科親睦ゴルフ大会実行委員会 丸山 憲治	安曇野市科親睦ゴルフ大会実行委員会	共催	地域市民の健康保持・体力向上及び、市民相互の親睦交流及び運常意識の高揚並びに社会体育の振興を図るため。	6月2日	令和4年9月2日(金)				月 日	豊科カントリー倶楽部	本大会は、市民の健康保持と地域市民相互の親睦、交流及び運常意識の高揚並びに社会体育の振興を図る。なお、本大会は旧明科町の平成7年から続く、多くの市民の方が参加する伝統の大会であります。	競技方法:9Hストロークプレー新ベリア方式 参加人数:160名 プレー料金:1人 11,580円 参加料:1人 2,000円	○	-	○	基準第3条第2項により可
6	10	R468	社会教育課	第23回安曇野市科親睦ゴルフ大会	安曇野市科親睦ゴルフ大会実行委員会 吉田 高男	安曇野市科親睦ゴルフ大会実行委員会	共催	ゴルフ競技を通じて、市民相互の交流を深め市民の運常意識を高める。また、競技人口の増進し、市民の健康増進を図るため。	6月8日	令和4年8月24日(水)				月 日	あつみ野カントリークラブ	社会体育の振興、ゴルフを通じ市民の親睦と親睦、健康増進と体力の向上。	競技方法:前半9ホールストロークプレーによる新ベリア方式 参加人数:120名(30組) 参加料:1人1,000円 プレー費:1人8,800円	○	-	○	基準第3条第2項により可

教育部文化課 共催・後援台帳(令和4年度 6月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R3	R2	R1	所管 課 意見
17	R4.5.16	文化	おはなし会(ストーリーテリング)	穂高絵本とお話の会 竹内 桜子	穂高絵本とお話の会	共催	「素語」は子供の精神的、文学的成長に大きな力を持つっており、今更なる魅力を広く一般の人にも知っていただきたいため。	5月10日	11月6日(日) 午前10時～午後3時					複高交流学習センター 「みらいホール」	毎年小学校の読書週間中に開催している「おはなし会」(素語で昔話などを楽しむ会)に内容を、東京子ども図書館の講師の方の語りで、お察の人と一緒に楽しむ機会を設ける。	小学生～大人対象のストーリーテリング(昔話、創作物語などの素語4～5話)を2部構成で開催する。				基準第3条第2項により可
19	R4.5.19	文化	〈社会の闇・人への希望〉樋口健二写真展 真展・松本	〈社会の闇・人への希望〉樋口健二写真展実行委員会 竹内 忍	〈社会の闇・人への希望〉樋口健二写真展実行委員会	後援	子どもから大人まで多くの地域の方々にご覧いただきたいため。	5月16日	7月12日(火)～7月25日(月)					信毎メディアアガリーデン 1Fホール 3Fスタジオ	国家や巨大企業、体制などを根拠で支え、被害を被り犠牲となつてきた人々と、自然やいのち、暮らしのなかの人々の美しさなど、その全てに眼差しを向けてきた樋口健二の半世紀に及ぶこれらの作品を展示し「社会の闇をみつめる」とどこそこから人の希望の在処」を思い、考え、多くの人々とその共有を図る。 今の越く新しい時代や社会において、どのように未来への希望を語れるか、そんな実権としての企画。	1Fホール 写真展、講演会 ミニコンサート 3Fスタジオ 映画上映 写真展は無料 関連企画は有料				基準第3条第2項により可
20	R4.5.23	文化	令和4年度 安曇野高橋節郎記念美術展「高橋節郎とその素語」	公益財団法人 安曇野文化財団 長崎大幸	安曇野高橋節郎記念美術展実行委員会 安曇野文化財団	後援	安曇野市内の多くの市民および教育機関に向け、事業の周知宣伝に積極的かつ広範囲に取り組み、作品の出品や鑑賞といった芸術活動の機会創出、名譽市民である故、高橋節郎の顕彰の機会とするため。	5月20日	7月13日(水)～9月25日(日)					安曇野高橋節郎記念美術館 展示室1, 2, 3	高橋節郎とその教え子4名の作品を展示し、戦後の漆芸美術に高橋が果たした足跡を顕彰し、現代日本における漆の造形美術の「今」を紹介する。	高橋芸術を紹介するとともに、赤堀郁彦、並木恒延、三田村有純、故・横山善文(50善圃)の4名の作家に光をあて、代表作などを展示する。 一般620円、高大生410円、中学生以下・70歳以上の安曇野市民、障がい者及びその介助者1名無料				基準第3条第2項により可
23	R4.5.25	文化	紅葉鬼女伝説	劇団エル 山之内里 牙	劇団エル	後援	地元の劇団であるため、安曇野市に広げていきたいから。	5月25日	9月24日(土)午後2時					豊科公民館	安曇野市の地で生まれた劇団エルは女性だけの団体、広く女性の応募と地域活性化及び長野県の伝説を知ってもらいたい。	演劇を通して長野県の伝説を語る芝居、紅葉伝説をもとにした演劇舞台 入場料1500円				基準第3条第2項により可
24	R4.6.3	文化	第58回甲信地区大会	井上博文	スズキ・メソッド松本支部	後援	本コンサートの広報に役立てるため、安曇野市に広げていきたいから。	6月1日	9月23日(金)					キャセイ文化ホール 大ホール	日々おけいこに励むスズキ・メソッド音楽教室(ヴァイオリン、チェロ・フルート・ピアノ)の生徒たちの意欲づくりと成果発表のためのコンサート	ヴァイオリン・チェロ・ピアノ・フルートの生徒たちによる演奏				基準第3条第2項により可

教育部 文化課 共催・後援台帳(令和4年度 6月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者 (団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R3	R2 R1	所管 課 意見
27	R4.6.13	文化	歩く講座「安曇野の 大庄屋山口家のな ぞ解き巡り」	公益財団法人 八十二文化財 団	岩瀬 元英	公益財団 法人八十二文化財 団	チラシ等情宣物 に安曇野市教育 委員会の名前を 使用していた ため。安曇野市民に広 く周知していた ため。	6月9日	10月18日 (火)					安曇野市岩 原地区	八十二文化財団では、「暮らした るおい」をテーマに、心豊か で潤いのある生活づくりのお役に たちたいという基本理念のもと、 県内各地で生涯学習の場を提供 しています。多彩な講座による歴 史・文化・美術講座や、文字散 歩・美術鑑めぐりなど幅広いシヤ ンル・テーマの講座を多数開催し ます。八十二文化財団の友の会 会員はじめ、一般の方を対象に 実施します。	国営アルプスあつみの公園を中 心に、百瀬新治さんの解説を聞 きながら、大庄屋山口家を中心 に岩原地区の魅力ある歴史と文 化を訪ね歩きます。 【行程】公園集合→常念岳いこい の広場→岩原山神社→古道千 家と鳥川渡し場→大庄屋山口 家の見学→解散(約3km) 費用:一般1,800円、友の会会員 1,500円	-	-	基準 第3条 第2項 により 可

議案第5号	教育部 各課
令和4年6月23日提出	

タイトル	共催・後援依頼について
決定を要する事項の内容	教育委員会の共催・後援依頼についての協議
要旨	学校教育課 共催 0件・後援 1件 (詳細 別紙)

議案第3号の共催・後援依頼に関わる申請書は、個人又は法人に係る情報が記載されているため、非公開といたします。

○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】
(定義)

第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。
- (2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。
- (3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。

(審査基準)

第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。

- (1) 国又は地方公共団体
- (2) 学校又は学校の連合体

2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。

- (1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。
- (2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。
- (3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。
- (4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。
- (5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。
- (6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。

(教育長の専決範囲)

第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。

- (1) 前条第1項に規定する行事
- (2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)

学校教育課 共催・後援台帳(令和4年度6月定例会協議事項)

№	受付日	所管	年度	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	審決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R3	R2	R1	所管課意見	
15	R4.6.21	教育総務係	R4	第2回ハリアリマルシェ	ハリアリマルシェ実行委員会	ハリアリースタイルルカ	後援	活動を千曲市以外にも広く知っていただくため	6月13日	令和4年7月24日 (日) 10:00~15:00	-	-	-	-	千曲市役所	障がいにより社会参加に困難がある障がい児(者)とその養育者が気軽に出かけられ、楽しめる場所を提供する	地元作家や飲食店による手作り品の販売、ワークショップの提供、インクルーシブな製品の展示	-	-	-	-	基準第3条第2項により可

報告第1号	教 育 部 こども園幼稚園課
令和4年 6月 23日提出	(課長) 佐々木 真貴 (担当) 山岸・杉本・山本

タイトル	【報告】信州安曇野ハーフマラソンブース出展について
要旨	信州安曇野ハーフマラソンのブース出展により、子どもや親子で過ごす遊び場の提供、「あづみの自然保育」のPR、移住定住の促進に向けた取り組みを行った。
	<p>1. 出展内容</p> <p>親子で楽しんでもらう場として、木や自然物を用いた遊び場の提供、「あづみの自然保育」のPRとして園庭ミニ・プチ田んぼの紹介コーナーや園児の写真パネルの展示、移住定住促進に向けてアンケート及び資料配布を行った。</p> <p><自然物遊びの提供></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ログジャンプ※1 ・ソイホールゲーム※2 ・自然物クラフト※3 ・フロッタージュ※4 <p>※1 薄く切った丸太を渡っていく遊び ※2 安曇野産黒大豆を入れて作ったトスバッグを的の穴に投げ入れて点数を競うゲーム ※3 松ぼっくり、ヤシャブシ、栃の実等、木の実や自然物を用いた工作 ※4 好きな葉っぱをクレヨンで紙にこすり出して描く、こすり絵</p> <p><あづみの自然保育のPR></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの四季の遊びの様子を写真パネルにして掲示 ・園庭ミニ田んぼ紹介コーナー※1 ・カップ苗プレゼント※2 <p>※1 模擬田んぼディスプレイ・紹介パネル展示(別紙参照) ※2 有明あおぞら認定こども園用に育てた苗を希望者に配布</p>

<移住定住促進>

- ・アンケート (内容と結果は別紙参照)
- ・アンケート回答者に、安曇野市オリジナルノベルティをプレゼント
- ・市外在住のアンケート回答者に、移住相談のリストやパンフレット等を配布

2. 来場者の様子・感想

- ・遊び、クラフトコーナーについて (自然物クラフトの参加者36名)
「空いた時間に子どもたちが楽しめて、とても助かりました」
「自然と遊べるコーナーがあるのはいいね。子どもたちも喜びそう」
お子さんが熱心に工作する姿を見て、保護者さんも一緒に取り組まれたり、都会では珍しい自然物に、興味を持っている様子だった。
 - ・園庭ミニ田んぼ・稲の配布について (苗配布数20)
「都会だとお米作りに参加するだけで、結構な参加費がかかる。無料でできるのがいいですね」 (東京在住男性、苗2つ持ち帰り)
「(バケツ稲に対して) 稲作は田んぼでやるものだと思ってた。スゴイ！」
 - ・安曇野市について
「風景がいいし、人も良いですね。安曇野で暮らしたい。」 (県外女性)
「安曇野のマラソンは、他のどの地域よりも応援してくれる人の距離が近くて嬉しい。」 (マラソン常連男性)
「(今暮らしている地域は) ビルばかり。便利だし、自分自身は田舎から出たいと思っていたけれど、子育ては自然の多い中で出来たらいいですね。」 (飯田出身、県外在住の女性)
 - ・ブース全体について
「大変盛況で、今後のイベントの参考にさせて欲しい。多くの参加者から評判が良かった。」 (信濃毎日新聞担当者)
- 出展によって得られたさまざまな反応や結果を、今後の取り組みに活かしていく。

〈ブース状況〉



〈来場者の様子〉



2022年安曇野ハーフマラソン あづみの自然保育アンケート調査結果報告

こども園幼稚園課 地域おこし協力隊
杉本智美・山本綾

【回答者数】

市内在住者・・・22名
市外在住者・・・29名 計 51名

市内在住回答者 内訳

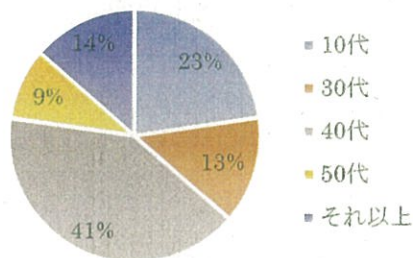
1. 年齢

10代・・・5名 20代・・・なし 30代・・・3名
40代・・・9名 50代・・・2名 60代・・・なし それ以上・・・3名

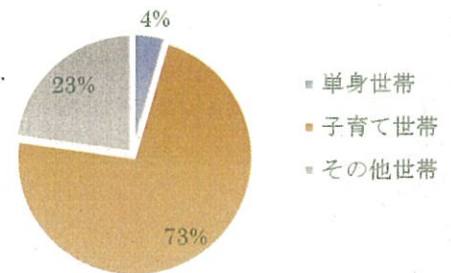
2. 世帯構成

単身世帯・・・1名
夫婦世帯・・・なし
子育て世帯・・・16名
その他世帯・・・5名

1. 年齢



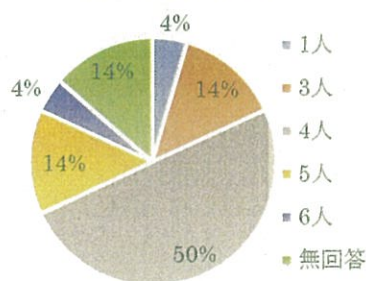
2. 世帯構成



3. 世帯人数

1人・・・1名
2人・・・0名
3人・・・3名
4人・・・11名
5人・・・3名
6人・・・1名
それ以上・・・0名
※無回答・・・3名

3. 世帯人数



4. 安曇野市が「自然保育」を推進していることを知っていますか？

はい 10名 いいえ 12名

5. 長野県が「信州やまほいく」(信州型自然保育認定制度)を制定し、自然保育を推進していることを知っていますか？

はい 8名 いいえ 14名

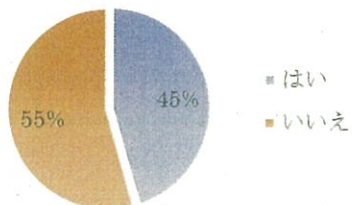
6. 安曇野市の全ての公立認定こども園が「信州やまほいく」の認定を受けていることを知っていますか？

はい 7名 いいえ 15名

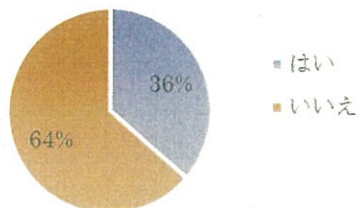
7. 安曇野市が安曇野市らしい自然保育として「あづみの自然保育」を行っていることを知っていますか？

はい 13名　　いいえ 9名

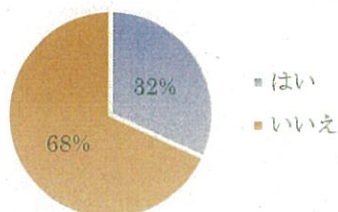
4. 安曇野市が「自然保育」を推進していることを知っていますか？



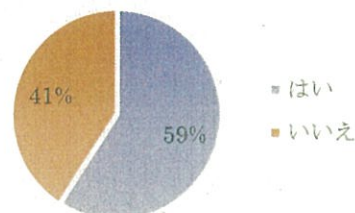
5. 長野県が「信州やまほいく」(信州型自然保育認定制度)を制定し、自然保育を推進していることを知っていますか？



6. 安曇野市の全ての公立認定こども園が「信州やまほいく」の認定を受けていることを知っていますか？



7. 安曇野市が安曇野市らしい自然保育として「あづみの自然保育」を行っていることを知っていますか？

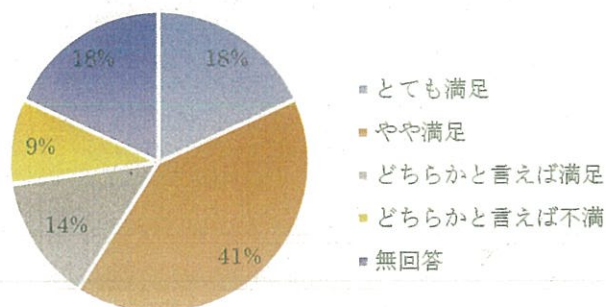


8. 安曇野市内で子育て中、子育て経験のある方に質問です。

安曇野市の子育て環境や支援への満足度について、あてはまるものはどれですか？

- ① とても満足している・・・4名
- ② やや満足している・・・9名
- ③ どちらかと言えば満足している・・・3名
- ④ どちらかと言えば不満がある・・・2名(40代子育て世帯・70代以上単身世帯)
- ⑤ やや不満がある・・・0
- ⑥ とても不満がある・・・0
- ⑦ 無回答・・・4名

8. 安曇野市の子育て環境や支援への満足度についてあてはまるものはどれですか？



9. 子育て環境や子育て支援についてのご意見、また、安曇野らしい自然保育を推進するため、活用できそうな地域の場所や活動などがありましたら、参考にさせていただきますので、ご自由にご記入ください。

◎あづみの自然保育を「知らなかった」方の回答

【50代】

- ・南部公園が広くていつも来ています (50代その他世帯)
- ・ミニ田んぼに感動しました。自然保育にも力を入れて頂き頑張ってください。
ミニ田んぼは都会で広めるのはどうでしょうか？家庭菜園に憧れる人が多いので、今後進めてください (50代その他世帯)

【70代】

- ・ミニ田んぼのアイデアを商品化に(マンションのベランダでも栽培できるとか)、安曇野の米の良さとか、田舎の良さを知ってもらおうといいと思う
(70代以上その他世帯)

◎あづみの自然保育を「知っていた」方の回答

【30代】

- ・自然が多いところなので自然を活かした外遊びを色々すると良い (30代その他世帯)
- ・地域の方のふれあいが増えれば良いなと思います (30代子育て世帯)

【40代】

- ・河・田んぼが活用できる (40代子育て世帯)
- ・小学校も森(里山)での環境があると嬉しいです (40代子育て世帯)

市外在住回答者 内訳

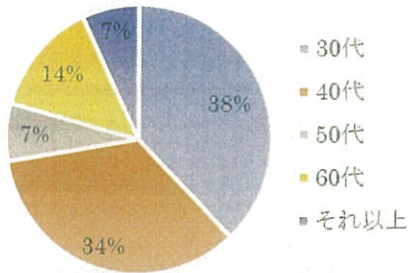
1. 年齢

10代・・・0名 20代・・・0名 30代・・・11名
 40代・・・10名 50代・・・2名 60代・・・4名 それ以上・・・2名

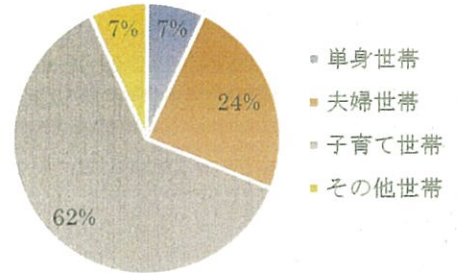
2. 世帯構成

単身世帯・・・2名
 夫婦世帯・・・7名
 子育て世帯・・・18名
 その他世帯・・・2名

1. 年齢



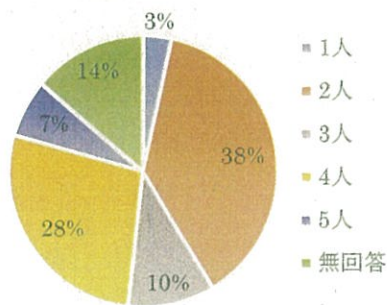
2. 世帯構成



3. 世帯人数

1人・・・1名
 2人・・・11名
 3人・・・3名
 4人・・・8名
 5人・・・2名
 6人・・・0名
 それ以上・・・0名
 ※無回答・・・4名

3. 世帯人数



4. お住まい

県外 東京都 5名
 神奈川県 2名
 千葉県 1名
 大阪府 1名
 愛知県 2名
 群馬県 1名
 静岡県 1名
 山梨県 1名

計 14名

県内

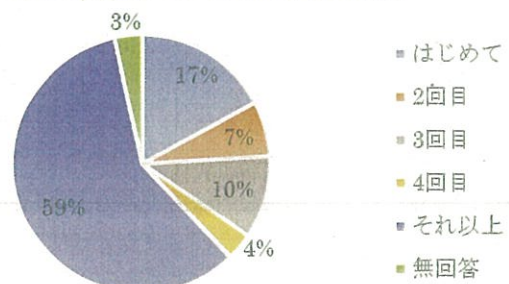
松本市 3名
 長野市 3名
 飯田市 2名
 千曲市 1名
 軽井沢市 2名
 茅野市 1名
 諏訪市 1名
 坂城町 1名
 松川村 1名

計 15名

5. 安曇野市への訪問回数

はじめて・・・5名
 2回目・・・2名
 3回目・・・3名
 4回目・・・1名
 それ以上・・・17名 (県外 11名 県外 6名)
 ※無回答・・・1名

5. 安曇野市の訪問回数



6. 安曇野のイメージは？

【訪問はじめて】

- ・自然がすごい・山が大きい・水がキレイ・おいしい
- ・田が思ったより多く、山もキレイです。穂高地区に泊まりましたが由緒ありそうな家屋が多くびっくりしました。
- ・米・空気がキレイ
- ・景色がキレイ・気持ちよく心が洗われる感じ

【訪問回数2回～4回】

- ・自然豊か・自然豊かでお水が美味しい・わさび・のどか・風景がキレイ
- ・水がキレイ・空気が美味しい・緑の匂いがする・山に囲まれた水の豊富なところ
- ・名前が可愛い

【訪問回数4回以上】

- ・山が良い・自然が豊かできれい・山・水・田んぼ・人が親切・空が高い・空気が澄んでいる
- ・山と水が良い・景色がいい・人柄が良い・大自然・空気がキレイ!!!!・水が美味しい
- ・山がキレイ・水が豊富・安曇野放牧豚・北アルプスの山並みが好き・土地が高い
- ・風景が絶景・捨ヶ堰が美しい・北アルプスの眺めが最高

7. 安曇野市が「自然保育」を推進していることを知っていますか？

はい 3 名(東京都・諏訪市・軽井沢市) いいえ 26 名

8. 長野県が「信州やまほいく」(信州型自然保育認定制度)を制定し、自然保育を推進していることを知っていますか？

はい 4 名 いいえ 25 名

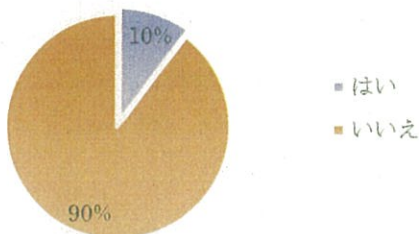
9. 安曇野市の全ての公立認定こども園が「信州やまほいく」の認定を受けていることを知っていますか？

はい 1 名(千曲市) いいえ 28 名

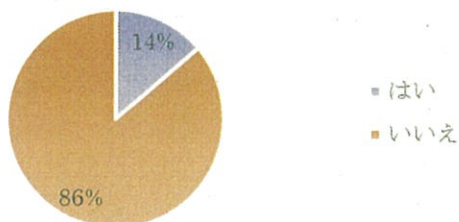
10. 安曇野市が安曇野市らしい自然保育として「あづみの自然保育」を行っていることを知っていますか？

はい 1 名(千曲市) いいえ 28 名

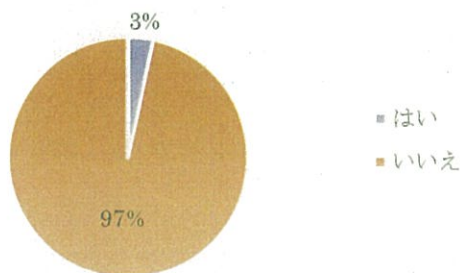
7. 安曇野市が「自然保育」を推進していることを知っていますか？



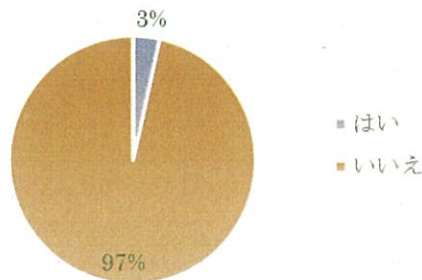
8. 長野県が「信州やまほいく」(信州型自然保育認定制度)を制定し、自然保育を推進していることを知っていますか？



9. 安曇野市の全ての公立認定こども園が「信州やまほいく」の認定を受けていることを知っていますか？



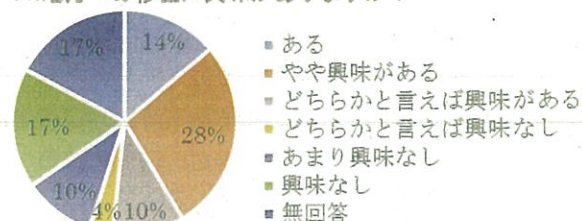
10. 安曇野市が安曇野市らしい自然保育として「あづみの自然保育」を行っていることを知っていますか？



11. 地方への移住に興味がありますか？(以下無回答・・・5名)

- ①ある・・・4名 (30代子育て世帯)
- ②やや興味がある・・・8名 (70代以上夫婦世帯 60代夫婦世帯 40代子育て世帯 50代子育て世帯 30代単身世帯)
- ③どちらかというに興味がある・・・3名 (30代 40代子育て世帯)
- ④どちらかというに興味なし・・・1名
- ⑤あまり興味なし・・・3名
- ⑥興味なし・・・5名
- 無回答・・・5名

11. 地方への移住に興味がありますか？



1 2. 1 1に①②③と答えた方→その理由は何ですか？

- ① 自然豊かな環境で暮らしたい・・・10名
- ② 田舎暮らしへの興味・関心・・・6名
- ③ 美味しい食べ物や水がある・・・9名
- ④ 退職後のセカンドライフとして・・・5名
- ⑤ 農業への興味・関心・・・2名
- ⑥ 自分の食べるものを自分で作りたい・・・2名
- ⑦ 就職・転職の希望・・・1名
- ⑧ 地元へのUターン・・・0名
- ⑨ 子育てに適した自然環境・・・5名
- ⑩ 生活コストの削減・・・0名
- ⑪ 趣味生活の充実・・・6名
- ⑫ テレワークの充実・・・1名
- ⑬ 都市の生活から離れたたい・・・0名
- ⑭ 暮らしてみたい場所がある・・・0名

上位3項目を黄色とする

1 3. 1 1に④⑤⑥と答えた方→その理由は何ですか？

- ① 現在の生活環境に満足している・・・6名
- ② 持ち家がある・・・6名
- ③ 転職に不安がある・・・0名
- ④ テレワークができない・・・0名
- ⑤ 生活環境が変化することに不安がある・・・1名
- ⑥ 現在の人間関係を維持したい・・・0名
- ⑦ 親が同居、もしくは近隣に住んでいる・・・1名
- ⑧ 田舎暮らしに不安がある・・・1名
- ⑨ 興味がない・・・0名
- ⑩ その他

1 4. もし移住するとしたら、重視するポイントは何ですか？(複数回答可)

- ① 希望する仕事があるかどうか(職種・就業時間・給与・福利厚生等)・・・10名
- ② 子育て環境の良さ・・・10名
- ③ 生活の便利さ・・・19名
- ④ 自然環境の良さ・・・12名
- ⑤ 医療体制の充実・・・9名
- ⑥ こどもの進学の実績の充実・・・8名
- ⑦ 趣味の充実・・・2名
- ⑧ 都市部からのアクセスの良さ・・・5名
- ⑨ その他・・・地域に溶け込める、積雪量

15. 仮に移住先で子育てすると考えたとき、移住先の子育て環境について、重視するポイントは何ですか？(複数回答可)

- ① 自然環境の豊かさ・・・・・・・・・・15名
- ② 学力・知力の向上が見込める環境・・・・・・・・7名
- ③ 少人数できめ細かい対応が可能な環境・・・・9名
- ④ こども向けの施設の充実した環境・・・・・・・・14名
- ⑤ 治安の良さ・・・・・・・・・・15名
- ⑥ 行政のこども医療費補助の充実・・・・・・・・10名
- ⑦ 習い事の選択肢の多さ・・・・・・・・・・4名
- ⑧ 行政からの情報提供の充実・・・・・・・・・・4名
- ⑨ 親の友人・知人(になれそうな人)がいる・・9名
- ⑩ 行政による保育費補助の充実・・・・・・・・・・5名
- ⑪ 近隣や自治会による支えや活動が充実している・・・・5名
- ⑫ 子どもが楽しめるイベントや施設が多い・・・・9名
- ⑬ 高度な医療機関がある・・・・・・・・・・4名
- ⑭ 体力の向上が見込める環境・・・・・・・・・・3名
- ⑮ その他・・・インターナショナルスクールがあること

16. 15で考える環境が移住希望先にあるかどうかを調べるために、有力な情報源となりそうなものは何ですか？

- ① 自治体の移住相談窓口・・・・・・・・・・10名
- ② 自治体のWEBサイト・・・・・・・・・・17名
- ③ 移住や田舎暮らしの情報雑誌・・・・・・・・7名
- ④ Twitter・Facebook・InstagramなどのSNS・・6名
- ⑤ インターネットの移住関連の記事・・・・・・・・13名
- ⑥ 新聞・・・・・・・・・・4名
- ⑦ テレビ・・・・・・・・・・4名
- ⑧ 移住希望者があつまるコミュニティサイト・・2名
- ⑨ 移住関係オンラインイベント・フェア・・・・1名
- ⑩ 友人からの口コミ・・・・・・・・・・4名
- ⑪ 各自治体が提供するYouTubeなどの移住関連動画・・・・3名

17. 移住先で子育てををするとして、不安に思う事を自由にお書きください

【30代】

- ・利便性の低さ・子どもの教育選択肢の少なさ (30代子育て世帯・愛知県)
- ・地域と繋がりが持てるかどうか、子育てグループがすでに出来ていそう (30代子育て世帯・千曲市)
- ・相談できる人がいるか (30代子育て世帯・長野市)
- ・子が小さいうちは自然の多い環境や田舎暮らしは理想的だと思うが、進学していくとなると通学や学校選びが大変そうだと思う (30代子育て世帯・長野市)
- ・知的障がいなどの理解のなさ (30代単身世帯・諏訪市)
- ・移住先での暮らしを継続できるかどうか (30代単身世帯・神奈川県)

【40代】

- ・進学や医療 (40代子育て世帯・東京都)
- ・友達づくり、いじめ問題は都心より激しいイメージがある (40代子育て世帯・東京都)
- ・仕事環境 (40代子育て世帯・静岡県)

18. その他、何かあれば、ご自由にお書きください

【30代】

- ・安曇野に住みたいです (30代夫婦世帯・飯田市)

【40代】

- ・コロナ減少で久しぶりの遠出でした。安曇野は自然豊かで人も優しく、ごはんが美味しく魅力的な所です (40代子育て世帯・東京都)

【60代】

- ・安曇野ハーフマラソンのように県外から参加できるイベントをこれからも続けてほしいです。
移住となるとハードルが高いのですが、イベントに県外から参加することで長野の人たちと共感できる場があるのはとても嬉しいことだと思っています。
このイベントを通して「また来たい場所」となって早や5年経っています
(60代その他世帯・大阪府)

報告第2号	教育部 各課
令和4年6月23日提出	

タイトル	後援依頼の教育長専決分の報告について										
報告を要する事項の内容	教育長専決に伴う報告										
要旨	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">学校教育課</td> <td style="text-align: right;">2件</td> </tr> <tr> <td>生涯学習課</td> <td style="text-align: right;">2件</td> </tr> <tr> <td>文化課</td> <td style="text-align: right;">8件</td> </tr> <tr> <td>子ども家庭支援課</td> <td style="text-align: right;">3件</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">(詳細別紙)</td> </tr> </table>	学校教育課	2件	生涯学習課	2件	文化課	8件	子ども家庭支援課	3件	(詳細別紙)	
学校教育課	2件										
生涯学習課	2件										
文化課	8件										
子ども家庭支援課	3件										
(詳細別紙)											
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>											

学校教育課 共催・後援台帳(令和4年度6月度定例会専決報告事項)

発 行 日 月 年	No.	取付日	所管年度	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R1	R2	R3	所管課意見
6	14	R4.6.1	教育 R4 総務 係	第71回安曇野市教育研究集会 安曇野市教育研究会 企画実行会 (代表者:西川 友人)	安曇野市教育委員会 長野県教育委員会 安曇野市教育委員会 安曇野市校長会 組合	後援	幅広い参加者を募り、安曇野教育研究集会の充実と発展を図るため	5月31日	令和4年8月27日(土) 8:30~12:00	〇	過去承認	〇	6月6日	安曇野市内小中学校16校にて分散実施 穂高北小学校、穂高南小学校、穂高西小学校、穂高小学校、穂高東小学校、明小中学校、三郷小学校、穂高南中学校、穂高西中学校、穂高北中学校、穂高南中学校、明科中学校	学校教育・社会教育等それぞれの場における教育の充実と研究の成果を共有し、互いに協力し研究を深め、安曇野教育の充実と発展を図る	参加費:無料 市教育関係諸団体のそれぞれとの交流の場となるような集いを開催 教師集会での研究成果の普及と研究の継続を図り、研究が質的に深まっていくようにする	〇	〇	〇	基準第3条第2項及び第4条第2号により可	
6	16	R4.6.6	教育 R 4 総務 係	第37回長野県中・高地区中学校英語教育研究会 中・高地区 (代表者:阪口 和彦)	長野県英語教育研究会(中・高地区)/徳光新聞社	後援	中・高地区の中学生の英語力向上と英語力の向上と英語力を深めることを目的とする	5月30日	令和4年9月10日(土) 8:30~18:00	〇	過去承認	〇	6月15日	安曇野市三郷公民館講堂	英語学習に高い関心を持つ中・高地区の中学生が一堂に集い、各自のテーマに沿った英語の非論議を行うことを通じて、お互いの英語力の向上と切磋を深めることを目的とする	参加料:1人1000円 5分間の非論議時間でスピーチを行い、3名の審査員が3部門(内容、英語力、表現)で審査を行う 1位~7位には賞状を授与し、県大会への推薦を行う	〇	〇	〇	基準第3条第2項及び第4条第2号により可	

教育部生涯学習課共催・後援台帳(令和4年度6月定例会専決事項)

定例会 提出(報 告)月	No.	受付 日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R1	R2	R3	所管課意見
6	7	令和4年5月20日	社会教育係	第38回安曇野市明科あやめまつり実行委員会	あやめまつり実行委員会 実行委員長 岩淵 義明	あやめまつり実行委員会	後援	安曇野市の生涯学習の更なる発展と子ども達の健全育成のため	5月20日	令和4年6月18日(土)から6月19日(日)まで	過去承認	過去承認	5月23日	あやめ公園・龍門湖公園	地域の活性化として住民が広く関わりを持ち開催することにより、人と人との交流を通じて、地域の文化を育むことに繋げたいため。	公園清掃、ミニコンサート、フットコンテスト、新緑ウォーキング、芸術発表会、太鼓まつり、ピッコ大など				基準第3条第2項及び第4条第2号により可	
6	8	令和4年5月27日	社会教育係	子供と家族の未来を考えるマナー講座	子供と家族の未来を考えた会 松本支部 支部長 松沢 敏介	子供と家族の未来を考えた会 松本支部	後援	「金融」「経済」「お金」に対する知識、教養はお子様が社会生活を営んでいくうえで、とても大切な能力だと弊会は考えており、保護者様をはじめご家族全員で金融リテラシーの向上を目指していただくことが、安曇野市教育委員会の理念と合致しているため	5月24日	令和4年7月30日(土)、7月31日(日)、8月1日(月)、9月24日(土)、9月25日(日)、9月26日(月) 10:00-11:30 全日程同一内容	過去承認	過去承認	5月31日	Zoomを使ったオンラインセミナー	金融リテラシー(金融、経済、お金の知識)の提供。	金融リテラシーとは「お金」「経済」と楽しく働かせる「経済マナー」「投資マナー」を楽しく身に付け、合ってもらえる事と目的とし、開催する。特に教育資金不足から家計破綻の現実ももたせ、家族全員で楽しい未来を迎えてもらうための、きつかけになる講座となっている。				基準第3条第2項及び第4条第2号により可	

教育部 文化課 共催・後援台帳(令和4年度 6月定例会報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R3	R2	R1	所管課意見
8	R4.5.9	文化	オペラを楽しむ会 第11回公演 トニ ゼツァイ作曲 オペ ラ『愛の妙薬』	オペラを楽しむ 会 倉科京子	オペラを楽しむ 会	後援	広く一般市民 に、この公演を 知っていただき、 来場して頂きた いため。	4月30日	令和5年 4月23日 (日) 14:00~ 16:30	○	過去 承認		5月18日	まつもと市民 芸術館ホール	1.地域の音楽家や愛好家でオペ ラを創進する 2. 地域の音楽家や愛好家に練 習や発表の機会を提供し育成す る。 3. 地域の方々が気軽にオペラ に触れることができる機会をつく る。 4. これらにより地域の音楽文化 の振興に貢献して公演を開催す る。	ドニゼツァイ作曲 オペラ『愛の妙 薬』(イタリア言語上演字幕付き) 入場料:大人5,000円 大学生3,000円 小中高生2,000円	-	○	-	基準 第3条 第2項 及び 第4条 第2号 により 可
11	R4.5.12	文化	豊科地区伝統文化 いけばな親子教室	豊科地区伝統 文化いけばな 親子教室 野崎純子	豊科地区 伝統文化 いけばな親 子教室	後援	小中学生の子ど もを対象とする 事業であり、幅 広く紹介したい ため。(文化庁 伝統文化親子教 室事業)	5月11日	令和4年7 月~12月 の間で10 回 午後1時~ 4時	○	過去 承認		5月18日	郷金公民館	次世代を担う子どもや親を対象 に、いけばなを通じて伝統文化を 体験・習得させるとともに、歴史 や伝統文化に関心・理解を深 め、子ども達の豊かな人間性を 涵養することを目的とする。	実技、いけばなの歴史、 かざり方 参加料:花材費1,000円	○	○	○	基準 第3条 第2項 及び 第4条 第2号 により 可
12	R4.5.12	文化	穂高地区伝統文化 いけばな親子教室	穂高地区伝統 文化いけばな 親子教室 野崎純子	穂高地区 伝統文化 いけばな親 子教室	後援	小中学生の子ど もを対象とする 事業のため、幅 広く紹介してい たいため。	5月11日	令和4年7 月~12月 の間で10 回 午前10時 ~12時	○	過去 承認		5月18日	穂高会館	次世代を担う子どもや親を対象 に、いけばなを通じて伝統文化を 体験・習得させるとともに、歴史 や伝統文化に関心・理解を深 め、子ども達の豊かな人間性を 涵養することを目的とする。	実技、いけばなの歴史、 かざり方 参加料:花材費1,000円	○	○	-	基準 第3条 第2項 第4条 第2号 により 可
14	R4.5.13	文化	地域の宝物!2022 年オオトリリジミ調 査	公益財団法人 日本自然保護 協会 亀山 章	公益財団 法人日本 自然保護 協会 岩原の自 然と文化を 守り育てる 会 安曇野オ オトリリジ ミ保護対策 会議 信州生物 多様性ネッ トきずな	後援	昨年と同様に照 金小・穂高西小 の皆さまにもご 参加いただき いたため。	5月11日	5月15日 (日)~6月 30日(木)	○	過去 承認		5月18日	郷金地区一 帯(主に岩原 区周辺)	市民参加型の絶滅危惧種「オオ トリリジミ」の目録調査を行い、 地域の宝物であるこのチヨウの 生息域の拡大状況を把握する。	参加者が自宅の庭等で目撃した オオトリリジミの成虫及び幼虫を 報告、 専門家は調査の際に撮影した写 真等を確認して科学的な情報を 作成する。	○	-	-	基準 第3条 第2項 及び 第4条 第2号 により 可
16	R4.5.16	文化	文化庁伝統文化親 子教室事業「みさと 伝統文化」もい いけばな教室」	みさと伝統文 化こどもい いけばな教室 宮坂 香央 利	みさと伝統 文化こども いけばな教 室	後援	小学生を中心に 広く募集する	5月16日	令和4年6 月18日 (土)~令 和5年1月 14日(土)	○	過去 承認		5月18日	三郷公民館 三郷交流学 習センター	日本の伝統文化「いけばな」を体 験・習得することにより豊かな人 間性・和の心・命の大切さを養う	いけばなの実技等 (教室10回、茶室1回) 参加料:1,000円(花材費等)	○	○	○	基準 第3条 第2項 及び 第4条 第2号 により 可

教育部 文化課 共催・後援台帳(令和4年度 6月定例会報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	審決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R3	R2	R1	所管課意見
18	R4.5.19	文化	第45回 わくわくキッズコンサート	「ホッと」演義ポランティア協会 牛山孝介	「ホッと」演義ポランティア協会	後援	多くの方にコンサートへお越しただきたいです。	5月16日	7月18日(月・祝)10時15分～11時30分	○	過去承認		6月6日	松本市庄内地区公民館 大会室	子連れでコンサートに行かれない方や、小さいお子さんがいる方のコンサートに行かれない方のために昼間にコンサートをを行い、音楽に触れてほしい。	ヴァイオリン&ピアノ デュオコンサート 入場料無料	○	-	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
21	R4.5.23	文化	魔法の美術館2022 光と遊ぶ超体験型ミュージアム ～この夏、美術館が魔法にかけられる～	株式会社長野放送 太田耕司	株式会社長野放送 / SuperCast	後援	多くの方に周知を図るため。	5月19日	7月15日(金)～9月4日(日)	○	過去承認		5月26日	上田市立美術館 サントムニョーゼ	難解と思われがちな「美術」に対する先入観を覆し、美術館に足を運ばない方々も、世代を超えて同じ価値観で楽しめる展覧会。美術館の楽しさを知っていただき、作品を遊びながらアート感覚を養うことができる体験型アート展。	見て、触れて、参加する。新しい形の体験型アート展。展示室に一步足を踏み入れると、作品は様々な表情を変え、まるで自分自身が魔法使いになったかのような体験ができます。世代を超えて誰もが楽しめる約15点の作品は、ほとんどが初出展。 (前売)大人1000円、子ども500円 (当日・平日)大人1100円、子ども600円 (当日・休日)大人1200円、子ども700円	-	-	○	基準第2条第2項及び第4条第2号により可
22	R4.5.27	文化	安曇節の作詞募集 in・2022	安曇節作詞実行委員会 佐伯治海	安曇節作詞実行委員会	後援	広く周知するため	5月27日	10月1日(土)	○	過去承認		5月27日	国営アルプスあづみの公園	安曇節の作詞募集をし、文化推進に寄与する	作詞募集を歌とおどりで行う 入場料等 無料	○	-	-	基準第3条第2項及び第4条第2号により可

教育子ども家庭支援課 共催・後援台帳(令和4年度6月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	R1	R2	R3	所管課意見
7	R4.5.29	児童青少年係	COLOMAGA Project安曇野	COLOMAGA Project安曇野制作委員会 代表 榎 畑彩香	COLOMAGA Project安曇野制作委員会	後援	信頼性を高めることで多くの市民に本企画の理解・協力を得ることができ、地域の魅力を広く伝えたいとします	5月29日	令和4年6月5日 令和5年3月末	○	過去承認	○	6月1日	安曇野市内	本団体は、プロのライター、カメラマン、イラストレーターが安曇野市内の中学生に冊子づくりのノウハウを教えるがら一緒にローカルマガジン(地方情報誌)を作るプロジェクトです。こどもの創造性を育みながら、街の魅力を伝え、こども自身が取材先に赴き、文章・写真・イラストを制作し、一つの冊子を作り上げることで地域とのつながりや地域愛を育みます。	冊子づくり講座やサイクリング体験、取材をもとに地域情報誌を制作する 参加料 1人2,000円			○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
8	R4.5.30	児童青少年係	安曇野ガールスカウト みつばちランド	ガールスカウト長野県第38団 小林 昭子	ガールスカウト長野県第38団	後援	一般のお子様にもスカウトと一緒に実践的な活動プログラムを通して、自然を体験し楽しんでもらうため	5月30日	令和4年6月26日(日)	○	過去承認	○	6月1日	須砂渡キヤノンプラザ(雨) 天時・三郷公民館講堂	スカウトと一緒に体験をしながら自然と関わることを楽しんでもらうため	クラフト「森のかわいいお弁当箱づくり」 ゲーム「かくれた森のお友達を探し」			○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
9	R4.6.9	児童青少年係	第14回安曇野市長杯争奪少年サッカー大会	穂高サッカーチーム 代表 藤原 英晃	安曇野市サッカー協会 穂高サッカーチーム	後援	市内スポーツ少年団加盟7チームが参加するため。	6月9日	令和4年7月9日(土)～10日(日)	○	過去承認	○	6月10日	牧運動場・西穂高運動場	大会を通じて相互の親睦と団結を深めながら、サッカー技術の向上を目指すとともに、リスベバクトの精神の大切さを学ぶことを目的とする。	安曇野市内他16チームが参加。 競技方法:8人制。予選リーグ及び2次リーグ・順位決定戦。 参加料:1チーム6,000円			○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可

報告第3号

令和4年度 事業進捗状況報告（懸案事項等）

<学校教育課>

学校教育担当

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
教職員健康推進事業	○第1回ストレスチェック 実施者名簿作成	○教職員健康診断 (6/22~7/20 6日間)
就学時健診業務	○来入児保護者宛通知配布	○就学時健康診断（園事前健診） (6/27~8/25 22日間)
GIGA スクール構想	○ICT 活用支援 ・各学校の授業支援 ・第1回 ICT 教育推進学校代表者会の開催 5月30日（月） ・令和4年度 GIGA スクール運営支援センター事業による支援開始	○ICT 活用支援 ・各学校の授業支援 ・第2回 ICT 教育学校代表者会の開催 ・県教委と共催の「GIGA スクールオンライン研修 in 安曇野市」に向けた準備
就学事務	○小学校新入学児の名簿作成	○就学指定校変更希望の調査
安曇野市 コミュニティスクール事業	○学校運営協議会運営支援 5月27日（金）豊科南小学校 5月30日（月）豊科北中学校、三郷中学校、堀金中学校 5月31日（火）穂高南小学校、穂高北小学校、穂高西中学校 6月3日（金）明科中学校 6月8日（水）明南小学校 6月9日（木）穂高東中学校 6月17日（金）豊科南中学校 ○地域学校協働本部連絡会 6月7日（火）三郷中学校区 ○堀金地域教育関係者連絡会 6月20日（月）	○地域学校協働本部連絡会 6月28日（火）豊科南中学校区 7月4日（月）豊科北中学校区
就学援助事務	○申請者名簿作成 ○認定調査 6月6日（月）～	○認定調査 ○認定通知発送
青色防犯パトロール	○青色防犯パトロール講習会 6月8日（水）穂高地域② ○青色防犯パトロール実施者証発行	
学校安全支援事業		○学校安全総合支援事業説明会

学校給食担当

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
給食センター総務費	<ul style="list-style-type: none"> ○給食費会計の決算の実施。 ○栄養士に関する研修会に積極的に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ○決算書作成、会計監査の実施、決算の確定 ○7/7、8/3 開催予定（給食施設、栄養管理）
学校給食費会計公会計化事業	<ul style="list-style-type: none"> ○給食費管理システムによる給食費の口座振替の実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・振替データ作成 ・金融機関へデータ伝送 	<ul style="list-style-type: none"> ○第2期（6/30）の給食費口座振替に向けて準備作業を行う。
各給食センター管理運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ○所管する学校へ安心して安全なおいしい給食をできるように施設及び調理環境の整備を行う。 	

令和4年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

〈生涯学習課〉

生涯学習課社会教育係

社会教育総務費事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
社会教育委員		7月12日（火） 第1回社会教育委員の会議
生涯学習推進計画	5月31日（火） 生涯学習推進本部会議 ・中間見直し、スケジュールについて 6月17日（金） 生涯学習推進市民会議 ・中間見直し、スケジュールについて ・令和3年度施策指標及び成果指標について	

人権教育推進事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
企業人権教育推進協議会	6月21日（火） 総会・研修会 ・令和3年度事業報告、会計報告 ・令和4年度事業計画、予算案 ・役員改選 ・研修（講演会） 演題 「やさしい日本語」 ～外国人にも日本人にも伝わりやすい表現～ 講師 中信多文化共生ネットワーク 佐藤佳子さん	

中央公民館事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
公民館運営審議会	6月20日（月） 第1回公民館運営審議会 ・令和3年度公民館事業報告について ・令和4年度公民館事業計画について ・生涯学習推進計画の中間見直しについて	
公民館長・主事会	6月13日（月） 第3回公民館長・主事会 ・第12回安曇野市総合芸術展について ・市公民館新型コロナウイルス対応マニュアルについて 他	7月11日（月） 第4回
公民館職員研修	6月13日（月） 公民館基礎・社会教育講座 （県生涯学習推進センター地域づくり推進研修） ・講義①「公民館入門 ～公民館の歴史とコロナ禍の公民館活動～」 ・講義②「コミュニティースクールの取り組みについて」 講師 長野県生涯学習推進センター公民館支援 専門員、主任指導主事	
公民館報	6月2日（木） 第1回館報企画会議 ・館報第65号の内容について ・館報第64号の最終確認について 6月22日（水） 第64号発行	
総合芸術展		7月11日（月） 第1回実行委員会

生涯学習課豊科生涯学習係（豊科公民館）

豊科公民館事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
第24回 コーラス交流会	豊科地域のコーラスグループの発表と交流の場	7月9日(土)の予定を12月10日(土)に延期することを決定。開催に向けて準備を進める。
楽しい菊作り講座	第3回6月3日(金)「鉢上げと摘芯」参加者16名 全6回+他地域の菊づくりを学ぶ(見学)1回	第4回 7月15日(金) 「誘引と定植」
地区公民館対抗球技大会	6月12日(日)に第1回を開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	
出会い・ふれあい・生きがいセミナー		6月28日(火) 「オオルリシジミとの付き合い方～天然記念物指定から考える」 講師 那須野 雅好さん(三郷昆虫クラブ世話人)
豊科の宝		7月7日(木) 「中世に開かれた堰」 講師 逸見 大悟(文化課職員)
ふるさと探訪講座		7月22日(金) 「安曇野の屋敷林～歴史的なまちなみ」 講師 宗像 昭さん(NPO法人ふるさとづくり応援団代表)
親子ふれあい塾		7月26日(火) 夏休みフィールドチャレンジ教室 県営烏川溪谷緑地と国営アルプスあづみの公園での自然観察会

※講座等については、新型コロナウイルス感染状況に留意し、開催の可否についての検討もしながら計画を進める。

豊科公民館施設管理運営事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
豊科公民館・ホール	6月2日(木) 劇団エル ホール視察【ホール対応】	9月24日(土) 公演本番に向けて打合せをしていく。
	6月7日(火) ホール冷房薬液塔点検 異状なく良好	
	6月16日(木) 水道事業者説明会リハーサル【ホール対応】	
	6月17日(金) 水道事業者説明会【ホール対応】	
	6月24日(金) 民生児童委員協議会研修会【ホール対応】	
	6月25日(土) 安曇野のオオルリシジミ市天然記念物指定記念シンポジウム【ホール対応】	
		6月29日(水) 県民生児童委員協議会大会【ホール対応】
		7月3日(日) 信学会 高校受験説明会【ホール対応】
		7月18日(祝・月) 県サッカー協会 組み合わせ抽選会【ホール対応】
		7月23日(土) シルバー人材センター 鎌田實講演会【ホール対応】
		7月27日(水) 安全運転管理者協会 安全運転管理者講習【ホール対応】
		7月30日(土) 県教育委員会 高校再編説明会【ホール対応】

生涯学習課穂高生涯学習係（穂高公民館）

穂高公民館事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
健康づくり講座	6月2日（木） 太極拳教室⑧ 6月9日（木） 太極拳教室⑨ 6月17日（金） やさしいダンスで教室①	6月24日（金） やさしいダンスで教室② 7月1日（金） やさしいダンスで教室③ 7月7日（木） 睡眠と健康の知恵袋① 7月8日（金） やさしいダンスで教室④ 7月14日（木） 睡眠と健康の知恵袋② 7月15日（金） やさしいダンスで教室⑤ 7月22日（金） やさしいダンスで教室⑥ 7月29日（金） やさしいダンスで教室⑦
季節のコンサート		7月9日（土） 夕涼みジャズコンサート
自然体験講座	6月10日（金） 乗鞍高原滝巡り	7月29日（金） 初心者向け登山講座
趣味の講座	6月16日（木）、 世界を巡る料理①	7月24日（日）に歌声喫茶を開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とする
地区公民館役員研修会	5月31日（火）19:00～ 地区公民館役員研修会	
地区公民館対抗球技大会	6月19日（日）に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本年度は中止とする	
マレットゴルフ大会		7月22日（金） 穂高地域公民館長杯マレットゴルフ大会

生涯学習課三郷生涯学習係（三郷公民館）

三郷公民館事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
生きがい講座	5月29日（日） けん玉チャレンジ①	
三郷地域学校協働本部 連絡会	6月7日（火）	
三郷祭運営委員会	6月10日（金）	
普通救命講習会	6月11日（土） 【中止】	
教養講座	6月16日（木） 自然教室①	
生きがい講座	6月18日（土） 陶芸教室①	
ふるさと講座	6月19日（日） 北小倉地区めぐり	
生きがい講座	6月23日（木） コーヒー教室①	

スポ協スポーツ推進員合同 会議		6月24日(金)
親子支援講座		6月25日(土) まなび隊① プログラミング教室
生きがい講座		6月26日(日) けん玉チャレンジ②
地区公民館研修会		7月3日(日)
生きがい講座		7月6日(水) 包丁研ぎ教室
生きがい講座		7月9日(土) 陶芸教室②
教養講座		7月10日(日) 安曇野人物誌①
ふるさと講座		7月14日(木) 高遠城址公園
学社連携人権講演会		7月19日(火) 三郷小学校
生きがい講座		7月23日(土) 陶芸教室③
ICT講座 (ふるさと作り支援)		7月24日(日) 地元でスマホ教室(楡地区)
三郷地域市民運動会実行委 員会		7月29日(金)
生きがい講座		7月31日(日) けん玉チャレンジ③

生涯学習課堀金生涯学習係(堀金公民館)

堀金公民館事業費

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み
童謡唱歌教室	6月7日(火)堀金公民館講堂 なつかしい童謡・唱歌について学び、歌う講座 参加者36名	今後4回実施予定
公民館関係者研修会	6月12日(日)堀金公民館講堂ほか 講演会と分散会を実施 参加者43名	
酒肴講座	6月18日(土)堀金公民館調理棟 おつまみなどの料理講座 参加者8名	
堀金のお宝発見講座「堀金に あるすてきな仏像」	6月19日(日)堀金地域 現地見学会 参加者15名	
堀金のお宝発見講座「堀金に ある仏像」	6月20日(月)堀金公民館講堂 講演会 定員60名	
菊づくり講座		6月30日実施、定員10名。今 後5回予定。
みんなでスポーツin常念		7月3日実施、軽スポーツ体験 会。募集30組。
堀金のお宝発見講座「グリー ンカーテンを育てよう」		7月19日実施、定員60名。

生涯学習課明科生涯学習係（明科公民館）

明科公民館事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
明科の魅力再発見講座	6月17日（金） 明科の宝第12回 「暮らしの中のまつり」 講師 文化課職員	
コンサート	6月21日（火） 初夏のコンサート「くつろぎのジャズ」 奏者 モダン デュークス	
現代社会・政治講座		7月24日（日） 「ウクライナ情勢とこれからの世界」講師：京都大学大学院 法学研究科教授 中西寛
スポーツ教室		7月6日（水） ワンバウンドマッチ②（奇数月 開催） 7月8日（金） パラスポーツ講座 「ゴールボールを体験しよ う！」
健康づくり講座		7月21日（木） あなたは大丈夫？フレイル予 防①「人生100年時代 自分の 人生は自分で選ぶ！創る！」
明科ヒューマン講演会	7月30日（土） 明科いいまちサロンと共催 「楽団ケ・セラ演奏会」 奏者：楽団ケ・セラ	
女性のための「健康づくり栄 養」講座	5月27日（金） 第1回 「止められる老化のポイント」 6月7日（火） 第2回 「不足している栄養素を知る」	
ふるさとたんけん隊	5月28日（土） 第1回 国営アルプスあづみの公園 （大町・松川地区）	7月28日（木） 第2回 長峰山たんけん

令和4年度事業進捗状況報告(懸案事項等)

〈文化課〉

文化振興担当

芸術教育普及事業

事業	現 況	今後の取り組み 備 考
美術館博物館年間 予定表	令和4年度 美術館博物館年間予定表 小中学生を同伴した保護者の入館料を無料とするパスポート の発行(全児童・生徒へ配布(R4.4/22)) 4月利用者数:53人 5月利用者数:345人	
能楽教室	6月21日(火)/明科中学校・6月22日(水)/穂高北小学校 演目 土蜘蛛 出演 立命館大学能楽部、青木道喜氏(観世流能楽師)	
東京藝術大学連携 事業(演奏指導)	6月4日(土)東京藝大4人 午前:三郷中学校 33人 午後:穂高東中学校 39人	
東京藝術大学によ るアーティスト・イ ン・レジデンス	令和4年度滞任事業候補者:柴田早穂(金工) 滞任期間:8月23日(火)~9月5日(月) 一般向けワークショップ:9月3日(土) 第2回打ち合わせ 5月23日(月)	
新進音楽家オーデ イション	新進音楽家オーディション 一般の部、ジュニアの部 7月3日(日)みらい 応募 ジュニア18組(21名)・一般7組(9名)	
あづみのミュージ アムカード	安曇野市・池田町・松川村・大町市の一部の美術館・博物館等 の周遊を図る。(3/19配布開始) 4月の総配布枚数2,554枚、5月の総配布枚数3,611枚、	

文化振興総務費

事業	現 況	今後の取り組み 備 考
博物館協議会	令和4年度第1回 5月24日(火)令和3年度事業報告につ いて 会場 きぼう 議事録別紙	
美術資料等選定委 員会(非公開)	令和4年度第1回 6月14日(火)美術作品の寄贈について ※非公開	

文化団体補助事業

事業	現 況	今後の取り組み 備 考
信州安曇野薪能 主催 実行委員会	第31回信州安曇野薪能 期日 8月20日(土) 会場 豊科公民館ホール 演目 舞囃子「熊坂」、能「松風」、狂言「茶壺」、半能「山姥」 第2回実行委員会 5月31日(火)チケット販売・協賛依頼	

ちくりに生きもののみらい基金充当事業	5月31日(火) 豊科北小4年 田淵館ほか 88人	
	6月3日(金) 明南、明北小6年 四賀化石館 65人	
	6月20日(月) 豊科北中1年 フィールドワーク	
	6月22日(水) 堀金小3年 国営アルプスあづみの公園	
	6月27日(月) 豊科東小 田淵行男記念館	
	6月27日(月) 豊科北中1年 フィールドワーク	
	7月13日(水) 堀金小4年 田淵行男記念館	

指定管理施設の事業

事業	現 況	今後の取り組み 備 考
豊科近代美術館	「土門拳 肉眼を越えたレンズ」(5/29~7/10)	
田淵行男記念館	常設展示「山の紋章 雪形」(2/15~5/29) 細密画展「安曇野の蝶」(4/26~7/10)	
高橋節郎記念美術館 穂高陶芸会館 飯沼飛行士記念館	常設展示	

博物館係

郷土博物館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備考
収蔵資料整理	・収蔵庫内の民俗資料の整理 新市立博物館の整備に向けて、資料の所在や破損の有無を確認。	・進捗状況に応じて、旧三郷民俗資料館及び旧堀金歴史民俗資料館の資料整理も実施する。
企画展	・春季企画展「八面大王と田村麻呂」 会期:3月19日(土)~5月22日(日) 入館者:234人	
講座等	(春季企画展関連講座) ・ギャラリートーク 3月20日(日) 参加者:13人 5月5日(木) 参加者:19人 5月22日(日) 参加者:14人 ・講演会 4月23日(土) 参加者:89人 ・講座 5月21日(土) 参加者:40人 ・現地見学会 4月16日(土) 参加者:20人 5月14日(土) 参加者:20人 (初夏の講座) 5月28日(土) 参加者:15人 6月4日(土) 参加者:21人 6月11日(土) 参加者:10人 6月18日(土)、6月25日(土)	
職員派遣等	・環境課の自然環境保護を目的とする業務への協力	

新市立博物館整備事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
安曇野市バーチャルミュージアム	・市ホームページサブサイト「安曇野市バーチャルミュージアム」とFacebook ページ「安曇野市教育委員会文化課」公開（令和3年3月1日～）	
コンパクト展示	・「懐かしき安曇野の水のすがた」 会期:5月31日（火）～7月29日（金） 場所:ほりで一ゆ～四季の郷	
平和学習資料 市内中学校 巡回展	・平和学習資料市内中学校巡回展（会期・会場） 穂高西中学校 5月16日（月）～5月29日（金） 堀金中学校 5月30日（月）～6月10日（金） 三郷中学校 6月13日（月）～6月24日（金） 豊科北中学校 6月27日（月）～7月8日（金）	

郷土資料館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
穂高郷土資料館 穂高鐘の鳴る丘 集会所	県宝の縄文土器のほか、鐘の鳴る丘集会所紹介コーナー、農具や漁具、養蚕資料など民具を展示。	

貞享義民記念館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
企画展示等	・北原良信クラフトバンド展 会期:5月21日（金）～5月29日（日）参加者:26人 ・下田忠壽 洗馬堂平線刻三十三観音拓本・写真展 会期:6月4日（土）～6月12日（日）参加者:44人	・7つの絵画教室作品展 6月15日（水） ～7月3日（日）
講座等	・臨地講座「水野氏と松本城下町⑧前期」 期日:6月1日（水）参加者:17人	

文書館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
重要文書等収集・ 整理	公開資料点数 公文書 46,622 点、地域資料 45,368 点 (5月末現在) (5月新規点数/公文書 237 点、地域資料 590 点)	
企画展示等	・文書館前期企画展 「安曇野の災害—先人は何を考え、どう動いたか—」 会期:5月8日（日）～8月31日（水）	

講座等	(企画展関連) ・講座「われらが安曇野市消防団」 期日：5月22日(日) 参加者：22人 ・講演会「活断層と地震がつくった安曇野」 6月26日(日)	(企画展関連) ・講座「古文書から読み解く善光寺地震」 7月17日(日)
市誌編さん	・「安曇野市誌民俗編・民俗資料編調査票」による民俗調査の実施。 地域の暮らしや習慣について、市民や市職員に調査票を配布し、回答を依頼。	

白井吉見文学館事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
講座等		・講演会 「太宰治と白井吉見」 7月12日(火)

歴史文化遺産再発見事業(文化庁補助事業)

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
『明科の宝』『穂高の宝』『豊科の宝』の頒布等	・明科及び穂高の『宝』は、配布終了。 ・『豊科の宝』は、豊科郷土博物館等にて無料配布中。 ・市ホームページを通じてPDF版を公開。また市内各図書館で閲覧、貸出が可能。	
『三郷の宝』の刊行	・6月8日、文化庁の芸術文化振興費補助金(Innovate MUSEAM事業)へ応募。	・実行委員会を実施し、事業計画を審議。 ・執筆予定者へ執筆依頼。

文化財保護係

文化財保護・保全事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み
文化財補助事業事務	無形民俗文化財の保存伝承関係、文化財防災設備保守関係、等への補助事業事務	
文化財の保全管理等に関する事務手続きと協議等	県宝「光久寺薬師堂」の防災設備設置について、市指定有形文化財小田多井神社本殿等の修理等の保護協議を随時実施	資金計画、業者、施工方法等の検討を進める
「安曇野の建造物」調査	信州大学工学部建築学科(梅干野研究室)との連携事業 ・穂高神社から各地区へ払い下げられた本殿の調査 ・古民家の記録保存、昨年度調査した神社本殿の報告会準備	

文化財保護へ向けた啓発活動	いわれの地標柱等修繕事業	随時
文化財の無料公開	重要文化財「曾根原家住宅」・県宝「光久寺の文化財（木造日光菩薩立像・月光菩薩立像、薬師堂）」の無料公開を各9回実施	月一回の無料公開を実施 令和4年度（予定） 曾根原家 10回 光久寺 9回
地区の祭り実施状況調査	令和3年度に引き続き、調査票（アンケート）の配布により、お祭りの開催状況及び中止・縮小に至った経過の把握をすすめる（調査対象：指定文化財16件、未指定16件）	調査結果を市ホームページで公開予定
市天然記念物「安曇野のオオルリシジミ」指定記念シンポジウム	令和4年6月25日（土）、場所豊科公民館ホール 主催：安曇野市教育委員会 協力：公益財団法人 日本自然保護協会、安曇野オオルリシジミ保護対策会議、岩原の自然と文化を守り育てる会	広報あづみの等で周知、参加者募集
文化財保存活用地域計画	策定にむけて他自治体の先行事例の研究	研究継続
文化的景観保存活用計画	他自治体の先行事例の研究及び、文化庁主催研修会への参加	研究継続

埋蔵文化財発掘調査事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
遺跡内での開発に対する協議及び工事立会の実施	一般開発・公共事業に伴う現地協議及び工事立会い	随時対応
法第93・94条関係の事務	周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発が行われる際の届出・通知受付事務	随時対応
公共事業協議	埋蔵文化財包蔵地内で計画されている公共事業について、必要に応じ、試掘調査計画、発掘調査対応等を担当部署と協議する	継続
埋蔵文化財報告書作成作業	発掘調査等で出土した遺物及び遺構の図化、記録、写真撮影等（文化財資料センター）	継続

図書館事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み
中央図書館 映画上映会	『プロフェッショナル仕事の流儀 かこさとしの仕事／家政婦タサン志麻の仕事』 期日：6月10日（金） 場所：みらい	
安曇野市図書館 講演会	「尾崎喜八と信州」 期日：6月19日（日） 場所：みらい	
夏休み 調べ学習支援講座	「調べるテーマを見つけよう！」 期日：6月25日（土） 場所：中央・豊科・三郷・堀金図書館	
堀金図書館臨時休館	エアコン改修による臨時休館 期間：7月1日（金）～7月19日（火）	

令和4年度 第1回安曇野市博物館協議会 会議概要

1	会議名	令和4年度 第1回安曇野市博物館協議会
2	日時	令和4年5月24日 午前10時から午前11時40分まで
3	会場	安曇野市豊科交流学習センター「きぼう」多目的交流ホール
4	委員出席者	野口委員、百瀬委員、森本委員、宇田川委員、伊藤委員、金井委員、笹本委員、古川委員、城戸委員、小口委員
6	事務局出席者	矢口教育部長、山下文化課長、豊科郷土博物館兼穂高郷土資料館原館長、豊科近代美術館荒深館長、田淵行男記念館兼飯沼飛行士記念館中田館長、高橋節郎記念美術館宮澤館長、貞享義民記念館寺島館長、白井吉見文学館平沢館長、逸見博物館担当係長、三澤文化課長補佐兼文化振興担当係長、曾根原文化振興担当主事、塩原文化振興担当主査
7	公開・非公開の別	公開
8	傍聴人	4人 (うち記者 1人)
9	会議概要作成年月日	令和4年6月1日

協 議 事 項 等

○会議の概要

- 1 開 会 (文化課長)
- 2 あいさつ (教育部長)
- 3 自己紹介
- 4 説明 (博物館協議会について)
事務局より博物館法、安曇野市博物館条例等について説明。
- 5 会長及び副会長の選出
互選により、会長：笹本委員、副会長：百瀬委員で決定

6 報告・協議

(1) 令和3年度各館事業報告 (資料1)

・委員より意見

委 員 新市立博物館構想の概要資料は非常にわかりやすく作成されている。今後も中長期的な取り組みについて具体的に示していただきたい。個人的な興味として「太子堂の上映会」満願寺に子どもたちが疎開していたことに驚いた。上映会については、もっと多くの人に知っていただいた方がよい。行事の周知徹底をお聞きしたい。

近代美術館の対話型鑑賞授業は、発問する側がどう問いかけるかが問題だが、美術館の考えをお聞きしたい。

事 務 局 世田谷区の太子堂の映像は、この度映像をいただいたので自由上映ができる。チラシ、市報、市民タイムスなどに掲載し15～20名に参加いただいた。R4年度の戦争展でも3回上映する。

会 長	太子堂と疎開がイメージとしてうまく結びつかないので、周知に努めてほしい。
事 務 局	学芸員からの発問は非常に重要。子どもを対象とした鑑賞のスキルは近隣の美術館とも協力してレベルアップしていきたい。
委 員	新市立博物館構想は促進してもらいたい。ただ入館者が少ないのは税金で運営している以上は努力も必要ではないか。館の場所も知られていないので、企画展を通じて宣伝して欲しい。地元の民間を活用し、研究者も発掘して欲しい。日展も非常に良かったが、2回目の来館者に割引くなど工夫してはどうか。
会 長	入館者増のための具体的な方策はあるか。
委 員	マスコミや市報、インターネットを活用するなど工夫してはどうか。
会 長	新聞等にはよく掲載されている。
事 務 局	新聞掲載は、タイミングが大事である。ギリギリの広報になってしまっていることは反省している。
事 務 局	マスコミには5月の連休中も5～6回取り上げていただいた。
委 員	館長はマスコミとコンタクトがとれる関係であるかが問われてきた。他県と比較しても、マスコミの露出頻度は高いと思う。常設展も子どもたちに対してどう広報するか課題だ。
委 員	研究環境、紀要の執筆は非常に重要。せつかくの研究内容を外部からも見えるように公開を前向きに進めていただきたい。評価されれば励みにもなる。研究する職員の勤務環境は、気がかりでならない。館の指定管理をどのように考えていくかとも関係あるのではないか。数年の間で、指定管理の館、直営の館は入れ替わっている。「紀要を作る環境」を起点に、今後の館の在り方についてじっくり考えていってはどうか。
委 員	非常勤の職員には予算のない中で紀要などの必要経費を最低限確保して欲しいという要望を私どもとしてもしていく。そんな中でもこれだけ子どもたちにも来ていただいている。また、「風土記」や「宝シリーズ」などの冊子を作り、発信は十分していると思う。博物館が今後どうなっていくべきなのかを真剣に考えていきたい。
・新市立博物館構想について	
事 務 局	平成 27 年度新市立博物館構想から 7 年経つ。博物館準備センターとして資料整理の拠点を探しているが該当施設がない。既存施設の統廃合の用地も検討してきた。課題は財源確保、用地の選定、現存の施設が現行の耐震基準を満たしていない可能性があること、収蔵環境など。またエレベータがないことによる高齢者・障がい者の方々には申し訳ない。今後、既存施設を改修しなければいけないが、博物館を取り巻く状況は変化しており、今の情勢にあった博物館構想、既存施設とどう有機的につなげていくかを再検討する必要がある。
会 長	税金を使ってでも博物館を作りたいという理念の底辺には、なぜ必要か、新しい文化をつくるためであるといったきちんとした理由があることが重要である。
委 員	学校側としても、教育現場は限界に近いカリキュラムを組んでおり、事業を広げていくのは難しいが本物を見ることの重要さは変わらない。博物館は、来館者増を目指すのか、学術を深めるのか、またターゲットは市民なのか、学術関係者なのか、目的や価値観が背反している。子どもたちにとっても市民にとっても、見に行った際にストーリーを感じさせ、それに感動し、背景に興味を持つことが重要。YouTubeなども活用し、プロのプロモーションも取り入れながら安曇野ブランドを発信して欲しい。
会 長	ターゲットは、明らかに市民であり、市民にとって充実していない博物館は良い施設とはいえない。また研究内容に対して難しいと言われない努力も必要。

委員	松本市美術館を利用してきたが、だんだん美術館が使いにくくなっている。そうしたことが利用者にも影響してくるのではないか。市報は、毎月イベントが羅列されているが、ビジュアルを工夫しわかりやすくしてはどうか。新市立博物館構想は統合するのではなく、既存施設をより良くし、クラスターとして運営していくのも一つではないか。
委員	広報は、職員による正統派の広報が基本とはなっているが、インターネットや SNS を活用し、ミュージアムサポーターのような方に“ユーザー目線”で魅力を発信してもらおうとよい。映画「ざんねんないきもの事典」は、穂高北小学校でも音源を録った。こうした機会を大事にしたい。
委員	市として括るのではなく、ニーズを掴むために市外ともつながっていくことが大事ではないか。考古学や、郷土博物館をとっても、インターネットを通して、同じテーマを扱っている所と、例えば「昔と今がどうつながっているか」などを情報共有してはどうか。その情報を出すタイミングも重要であろう。広域で情報交換をして、単独ではなく既存の施設同士が有機的につながっていくと良いのでは。
委員	新市立博物館構想は、市民がどれくらい必要としているかに関わってくる。図書館や交流学習センターは旧町村にそれぞれあり、利用者も多い。税金を使ってはいるが、ある程度の施設は必要だろう。少ない予算の中で、非常勤職員の方々にもよく頑張ってもらっている。豊科郷土博物館はエレベータがなく高齢者が帰られたとも聞く。ある一定以上の施設の整備は必要である。
会長	博物館が今後、どれほど動きがとりやすくなっていくかを、サポートしていくことが重要だ。各館に足を運んでいただき、長所と短所をそれぞれよく考えて発言していただきたい。
8 その他	
9 閉 会	
以上	

※会議概要は、原則として公開します。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

令和4年度事業進捗状況報告（懸案事項等） 《子ども家庭支援課》

子ども家庭相談担当

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
【子ども発達支援相談室】 ○遊びの教室 （体・知覚・社会性を育てる手助けをする） ○「親子であっぶつぶ」 （子どもの発達を助け、子どもとの関わりに困難を抱えている保護者向け個別相談） ○ことばの相談日 ○はいはいたちの相談日	○ 1歳児—こあら穂高（6/2）、1歳児—こあら堀金（6/6、6/13、6/27） 2歳児—いるか穂高（6/14、6/23、6/30）と、5月は7回開催 ○ R4年度の新事業としてスタート—6月は、毎週水曜日実施で5回行う。 ○ 言語発達関の躰きについて、初期の相談窓口として課題の改善、緩和を目指す。（6/3） ○ 乳児期の運動発達の躰きについて早期支援を行い全体の発達を整える。（6/10、6/24）	○各事業を、コロナ対策など感染症対策を取りながら毎月実施していく予定。 ○カンファレンスを行い、情報と方向性を明確にして支援を行う。

児童青少年係

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
青少年センター	6月24日（金）第2回運営委員会 6月22日（水）センターだより23号発行	7月1日（金）青少年の非行・被害防止強調月間県下一斉街頭啓発 7月7日（木）県青少年補導活動推進大会
青少年体験事業	6月11日（土）ジュニアリーダー養成講座 6月末 夏休みイベントカレンダー配布	7月7日（木）夏休み子ども体験ラボ応募締め切り
子ども会育成会	6月22日（水）松本地方子ども会育成会連絡会	7月16日（土）安全啓発講習会
わいわいランド	6月15日（水）以降順次活動開始	7月13日（水）、14日（木）救命法短期講習
児童クラブ	6月7日（火）利用者負担金本算定	7月20日（水）新年度児童クラブ説明会チラシ配布
青少年都市交流事業	6月3日（金）青少年都市交流事業参加申し込み締め切り	7月13日（水）参加者事前説明会（福岡市東区） 7月21日（木）参加者事前説明会（真鶴町） 7月26日（火）～29日（金）福岡市東区交流会（来訪）

令和4年度事業進捗状況報告（懸案事項等） 《こども園幼稚園課》

保育幼稚園係

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
園庭開放	<p>コロナ禍で中止していたが6月から状況をみながら再開している。</p> <p>未就園児が親子で園にあそびに来て、主任中心となり、簡単なあそびを楽しんでいく。入園前に園に慣れておきたいという保護者、心配事を相談していく保護者もいる。</p> <p>各園で実施。手紙を作成し、子どもに配布、児童館に置く、ホームページに掲載している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で経験するあそびが家でも楽しめるようになってほしいという願いで内容は考えていく。 ・保護者の話を聞くことでスムーズな入園に繋げていく。 ・入園前に慣れておくことで、子どもたちが安心して入園できるようにしていく。 ・不安を抱える方については、相談し、園にあそびに来ることができる状況を作っていく。

【教育委員会定例会提出資料】

報告第4号	教育部 学校教育課
令和4年6月23日提出	(課長)太田 雅史 (担当係長)中村 正勝

タイトル	令和4年度 児童生徒の指定校変更及び区域外就学者
	安曇野市情報公開条例第5条第1項第2号、個人に関する情報で、特定の個人が識別され、又は識別され得るもので、個人情報の保護に該当する案件として、非公開といたします。

【教育委員会定例会提出資料】

報告第5号	教育部 学校教育課
令和4年6月23日提出	(課長)太田 雅史 (担当係長)白井 慎詞

タイトル	教育長報告
	安曇野市情報公開条例第5条第1項第2号、個人に関する情報で、特定の個人が識別され、又は識別され得るもので、個人情報の保護に該当する案件として、非公開といたします。